

水道事業ローリングシート(個別事業点検表)

目指すべき方向性	強靱	基本政策	3 災害対策の推進		施策	3-1 震災対策の強化		事業	3-1-2 応急給水・復旧体制の整備		担当課	上下水道総務課
総事業費		1,949千円		事前・中間評価								
計画額	令和元年度(予算額)	令和2年度(予算額)	令和3年度(予算額)	令和4年度(予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
	416千円	173千円	176千円	170千円	169千円	169千円	169千円	169千円	169千円	169千円		
取組内容、数値目標及びスケジュール (単年度)	・上下水道管理部災害対策訓練等、毎年実施の訓練から得られた知見を、マニュアル更新に活かします。 ・日本水道協会や水道災害相互応援四市連絡協議会については、該当事業体や関連団体と継続的な情報交換を行います。 ・医療機関と計画的に合同訓練及び懇談会を実施し、連携強化を継続します。 ・災害時支援協力員の体制維持を図るとともに、意見交換会や合同訓練を行い制度を活性化させます。	・上下水道局災害対策訓練等から得られた知見を活かして、マニュアルの更新を行います。 ・日本水道協会や水道災害相互応援四市連絡協議会については、該当事業体や関連団体と継続的な情報交換を行います。 ・透析医療機関への災害対策、災害時の車両通行について確認し、局内へ周知を図るなど継続的な応急給水復旧体制の基礎を整えます。	・上下水道局災害対策訓練等から得られた知見を活かして、マニュアルの更新を行います。 ・日本水道協会や水道災害相互応援四市連絡協議会については、該当事業体や関連団体と継続的な情報交換を行います。 ・継続的な局内全体の応急給水復旧体制の基礎を整え維持するよう働きかけます。	・上下水道局災害対策訓練等から得られた知見を活かして、マニュアルの更新を行います。 ・日本水道協会や水道災害相互応援四市連絡協議会については、該当事業体や関連団体と継続的な情報交換を行います。 ・継続的な局内全体の応急給水復旧体制の基礎を整え維持するよう働きかけます。	・上下水道局災害対策訓練等から得られた知見を活かして、マニュアルの更新を行います。 ・日本水道協会や水道災害相互応援四市連絡協議会については、該当事業体や関連団体と継続的な情報交換を行います。 ・継続的な局内全体の応急給水復旧体制の基礎を整え維持するよう働きかけます。	・上下水道局災害対策訓練等から得られた知見を活かして、マニュアルの更新を行います。 ・日本水道協会や水道災害相互応援四市連絡協議会については、該当事業体や関連団体と継続的な情報交換を行います。 ・継続的な局内全体の応急給水復旧体制の基礎を整え維持するよう働きかけます。						
	総事業費 71千円											
	決算額	56千円	6千円	5千円	4千円							
	達成状況	・組織統合にあたり上下水道局内における災害支援体制を整理した。また、局内職員向けの応急給水訓練を実施し、川口市総合防災訓練や町会による防災訓練を通じ、市民と協力し段ボール製貯水槽の組み立てなど応急給水訓練を行うことができた。 ・水道災害相互応援四市連絡協議会において資機材等の情報共有を行った。また、日本水道協会関東地方支部北関東ブロック合同防災訓練(情報伝達訓練)に参加し、参集や給水活動の手順を確認することができた。 ・人工透析を行っている医療機関リストアップを行った。 ・災害時支援協力員との合同訓練を実施した。また、今年度末に退職予定の職員のうち、上下水道事業経験者に災害時支援協力員になっていたいただけるよう依頼した。	・局内訓練で浄水場における給水訓練や仮設給水車の組立訓練等を行い、手順や課題を確認することが出来ました。 ・災害時対策マニュアルを更新しました。 ・人工透析を行っている入院患者がいる医療機関のリストアップを行いました。 ・災害時支援協力員を新たに2名委嘱しました。また、今年度末に退職予定の職員のうち、上下水道事業経験者に災害時支援協力員になっていたいただけるよう依頼しました。	・災害時対応マニュアル(風水害対策編)を策定しました。 ・水道災害相互応援四市連絡協議会について、令和4年度は川口市が事務局となるため事務引継ぎを行いました。 ・局内訓練で浄水場における給水訓練や仮設給水車の組立訓練等を行い、手順や課題を確認することが出来ました。 ・川口市上下水道局災害時支援協力員制度実施要綱を更新しました。 ・今年度末に退職予定の職員のうち、上下水道事業経験者に災害時支援協力員になっていたいただけるように依頼しました。	・水道災害相互応援四市連絡協議会について、令和4年度は事務局として応援体制表の取りまとめを行いました。 ・局内訓練で応急給水資機材の取扱いやバルブ操作訓練等を行い、手順や課題を確認することができました。 ・今年度末に退職予定の職員のうち、上下水道事業経験者に災害時支援協力員になっていたいただけるように依頼しました。							